

# 福岡市美術館 令和3年度事業報告

令和4年1月31日

令和3年度福岡市美術館協議会

## 1 ウィンドスカルプチャー (SG) IIを設置

令和2年度に収集、設置を決定していたインカシヨニバレ C B E 作の大型彫刻がついにお目見え。



## 2 多数の作品 (近現代) を受贈。

奈良原一高の写真211点、ソシエテイルフの久野久の写真24点、森山安英の絵画13点などを中心に、多数の作品が寄贈された。

## 3 ミッションステートメントを作成。

当館の活動方針を明文化。リニューアル以降の当館の活動の指針となる。

# ミッションステートメント

## 【使命】

**福岡市美術館は、人が美術を通して交流し、未来を創造する場となります。**

福岡市は、古来より交流によって発展し、アジアのゲートウェイとして成長を遂げてきました。そうした歴史を背景に、福岡市美術館は1979年に開館し、時代的にも地域的にも幅広いコレクションを、市民とともに築いてきました。このように多彩なコレクションを持つ美術館は、日本においては唯一といってよいでしょう。開館40周年にあたる2019年には、多様性を受け入れながら交流を生み出す、より開かれた美術館となるために、大規模なリニューアルを果たしました。福岡市美術館は、これまでの歩みをふまえ、美術館としての基本的な活動である、美術資料の収集・保存・調査研究・展示公開・教育普及を継続的に行うことを前提に、この使命を掲げ、次のステージへと進みます。

## 【方針】

創造性に満ちた体験と新しい視点との出会いを実現します

多様な人々が交流し、美術と共に快適に過ごせるようにします。

美術館の資源を人々と共有し、未来に伝えます。

## 【活動】

- ・紀元前の考古資料から現代美術までの幅広いコレクションを活かし、新たな視野を開く展覧会、教育プログラムを開催します。
- ・表現活動を支えて美術界の活性化に寄与するとともに、創作活動の成果の発表の場を提供します。
- ・幅広い文化活動を行うことで、人々が美術と接する新たな機会をつくります。
- ・すべての人々が、安全にかつ安心して過ごせる環境を整えます。
- ・美術に関する資料・情報・経験を蓄積し、これらを公開・発信し、活用できるようにします。
- ・常に活動をふりかえり、未来に向けて、人々と共に成長し続けます。

## 1 概要

## 2 事業について

- (1) 展示活動（特別展、企画展、コレクション展、公募展）
- (2) 教育普及活動
- (3) 収集活動（購入、寄贈、寄託）
- (4) 調査・研究活動
- (5) 貸館利用
- (6) 広報・集客に関すること 等

## 3 施設利用状況

## 4 その他

新型コロナウイルス感染症対策について

# 1 概要

- 開館 1979年11月3日開館  
2019年3月21日リニューアルオープン
- 規模 鉄筋コンクリート 2階＋塔屋  
敷地面積25845.71㎡ 延床面積14713.66㎡ 建築面積8639.28㎡
- 展示室
  - 1階 東光院仏教美術室、古美術企画展示室、松永記念館室
  - 2階 近現代美術室（A～C）、特別展示室、ギャラリーA～F
- その他施設
  - 1階 ミュージアムホール、アートスタジオ、レクチャールーム  
カフェ、ミュージアムショップ
  - 2階 キッズスペース、情報コーナー、レストラン
- 開館時間 午前9時30分～午後5時30分 月曜日休館  
(7～10月の金・土曜日は午後8時まで開館)

# 1 概要

## ■組織

- ・ 総館長
- ・ 館長（事業管理課、学芸課総括）

※令和4年1月現在

事業管理課長	—	事業管理係 係長1、事務2、会計年度任用職員1
学芸課長（館長事務取扱）	—	学芸係（近現代） 係長1、学芸員3
	—	主任学芸主事（古美術） 係長1、学芸員1、会計年度任用職員1
	—	主任学芸主事（教育普及） 係長1、学芸員1、会計年度任用職員2

## ■令和3年度予算

内容	予算額（千円）	備考
【歳出】	780,464	施設管理、展覧会経費、教育普及、資料収集費など
【歳入】	45,619	施設使用料、駐車場、コレクション展観覧料、ふくおか応援寄付 など

## 2 事業について

### (1) 展示活動

(特別展、企画展、コレクション展、公募展)

### (2) 教育普及活動

### (3) 収集活動 (購入、寄贈)

### (4) 調査・研究活動

### (5) 貸館利用

### (6) 広報・集客に関すること 等

# (1) 展示活動

## 特別展

- ・高畑勲展 日本のアニメーションに遺したもの（令和3年4月29日～7月18日、24,008人）
- ・没後50年 電力王・松永安左エ門の茶（令和3年10月9日～11月21日、6,603人）
- ・ゴッホ展 響きあう魂 ヘレーネとフィンセント（令和3年12月23日～令和4年2月13日、開催中）

## 企画展

- ・田部光子展「希望を捨てるわけにはいかない」（令和4年1月5日～3月21日、開催中）
- ・シンガポール・スタイル 1850－1950 プラナカン・ファッション100年の旅  
リー・コレクションとクスマ・コレクションより（令和4年1月19日～3月27日、開催中）

## コレクション展

- ・近現代美術
- ・古美術

## 公募展・貸館利用

- ・福岡市美術展（第52回令和3年3月30日～4月4日、第53回令和4年3月23日～4月3日）
- ・令和3年度貸館利用 84件 82,349人 ※12月末現在

# (1) 展示活動

## 特別展

### 高畑勲展 日本のアニメーションに遺したもの

会期	令和3年4月29日～7月18日 70日間
主催	福岡市美術館、西日本新聞社、FBS福岡放送
観覧者数	24,008人（有料18,754人）
内容	日本のアニメーションに新たな可能性を切り開いた高畑勲（1935-2018）。本展では「高畑演出」のこだわりを、制作ノートや絵コンテ、原画、セル画、映像等多数の資料で紹介。その「こだわり」がどのように日本のアニメーションを進化させ、他の作品に影響を与えていったのか—未公開資料も紹介しながら、豊かな作品世界の秘密に迫った。
会期中の主なイベント	<ul style="list-style-type: none"><li>・4/29 記念講演会「高畑勲の革新的アニメーション演出術」 講師：叶清二（映像研究家）</li><li>・6/12, 13 映画上映会「柳川掘割物語」（12日）「かぐや姫の物語」（13日） 各々2回上映。</li><li>・6/20 記念講演会「富野由悠季、「赤毛のアン」を見ながら高畑勲を語る。」 講師：富野由悠季（アニメーション監督）</li></ul>



# (1) 展示活動

## 特別展

### 高畑勲展 日本のアニメーションに遺したものの



# (1) 展示活動

## 特別展

### 没後50年 電力王・松永安左エ門の茶

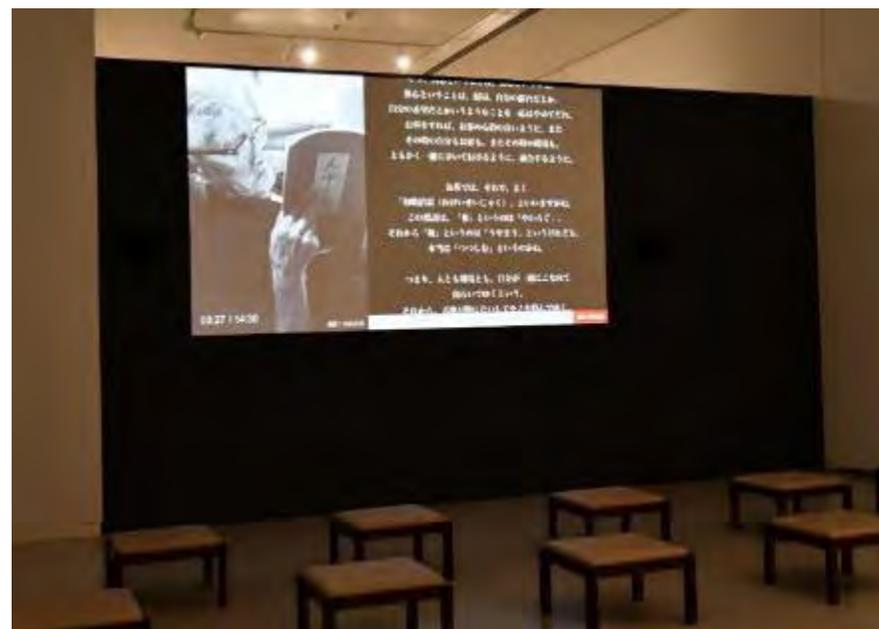
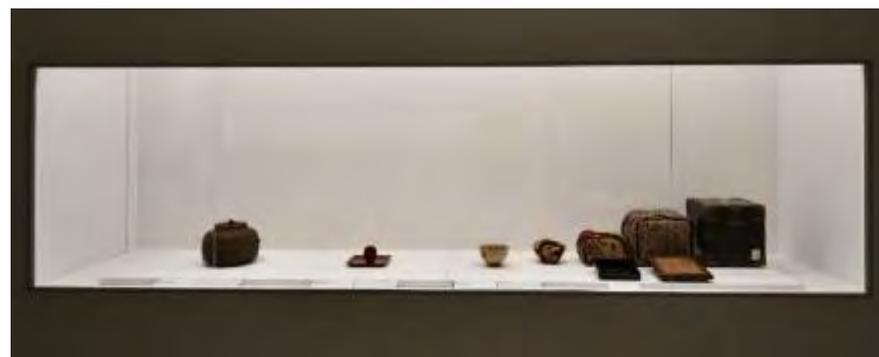
会期	令和3年10月9日～11月21日 38日間
主催	福岡市美術館、読売新聞西部本社、西日本新聞社
観覧者数	6,603人（有料4,371人）
内容	戦前戦後の日本の電力界で活躍した実業家で、「耳庵」と号する茶人でもあった松永安左エ門（1875－1971）の没後50年を記念して開催する回顧展。壱岐の松永安左エ門記念館、東京国立博物館、電力中央研究所等からも作品を借用し、松永の功績、それを支えた茶の湯の世界を、様々なエピソードとともに時系列で辿った。 展示総数117件（重要文化財16件、重要美術品3件）
会期中の 主な イベント	・ 10/23講演会「電力王が鬼となるまで 松永安左エ門の功績」講師：定村隆久（電力の鬼・松永安左エ門記念館 前管理者） ・ 10/30つきなみ講座特別編「電力王は数寄者となった松永安左エ門の茶」講師：後藤恒（当館主任学芸主事）



# (1) 展示活動

## 特別展

### 没後50年 電力王・松永安左エ門の茶

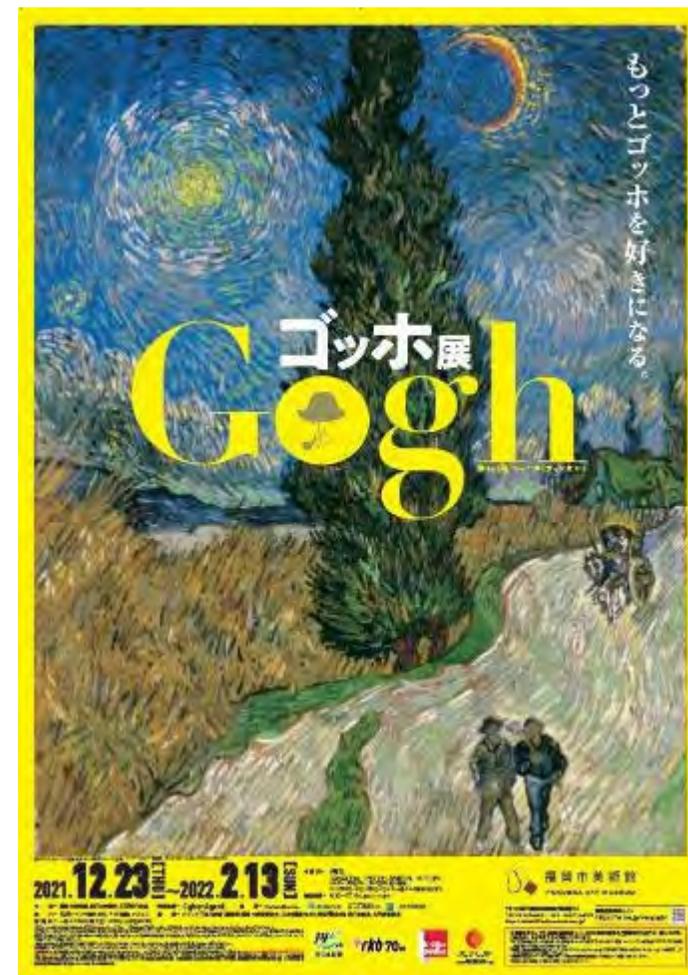


# (1) 展示活動

## 特別展

### ゴッホ展 響きあう魂 ヘレーネとフィンセント

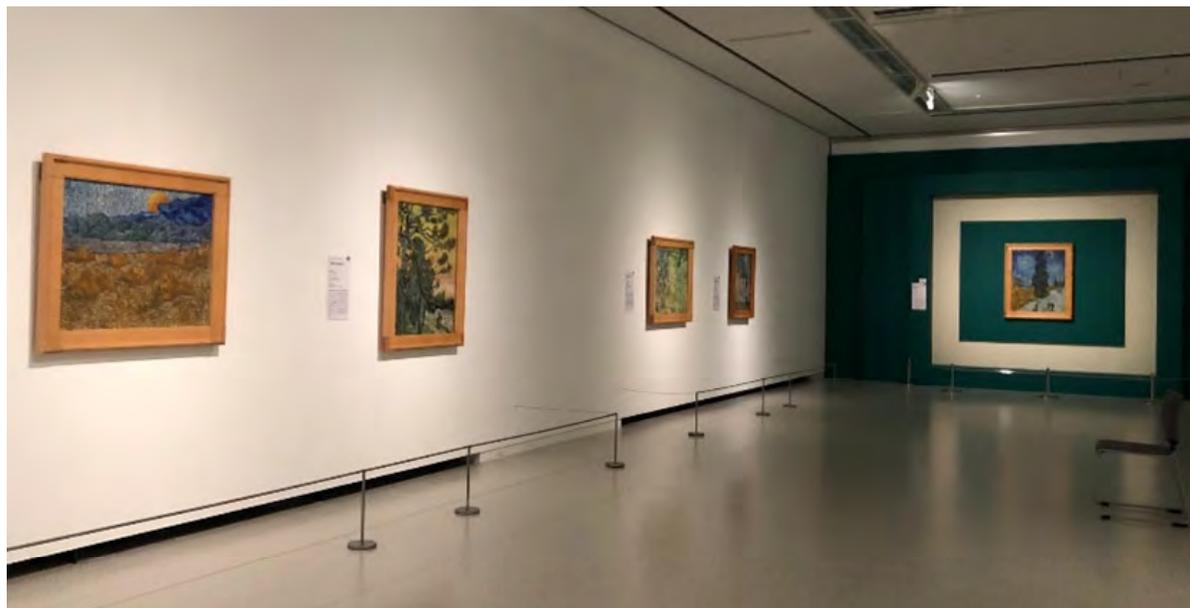
会期	令和3年12月23日～4年2月13日 43日間
主催	福岡市美術館、西日本新聞社、RKB毎日放送
観覧者数	(開催中)
内容	フィンセント・ファン・ゴッホの作品の評価の立役者の1人、ヘレーネ・クレラー＝ミュラー。彼女は20年にわたりゴッホの作品を収集し、公開することで画家の名を世に知らしめた。彼女が初代館長を務めたクレラー＝ミュラー美術館の所蔵品を中心に、ゴッホの絵画32点、素描20点と、他の近代画家の作品20点を展示。
会期中の主なイベント	<ul style="list-style-type: none"><li>・1/15 記念講演会「ゴッホとゴーギャン アルルの62日間—小説・戯曲「リボルバー」創作を通して—作家の考察」講師：原田マハ（小説家）</li><li>・1/30 記念講演会「僕の絵は売れるの？—ファン・ゴッホの没後、遺品に何が起きたか？—」講師：囃府寺司（大阪大学教授）</li></ul>



# (1) 展示活動

## 特別展

ゴッホ展 響きあう魂 ヘレーネとフィンセント



# (1) 展示活動

## 企画展

### 田部光子展「希望を捨てるわけにはいかない」

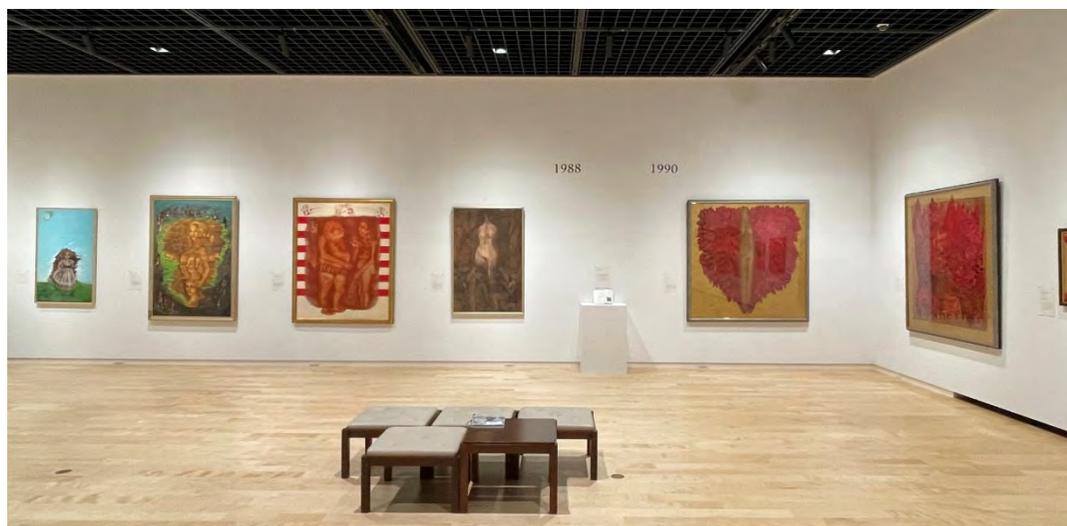
会期	令和4年1月5日～3月21日 66日間
会場	近現代美術室A,B
観覧者数	(開催中)
内容	田部光子(1933年生まれ)は、「九州派」の主要メンバーとして活動、その後も福岡の美術界、女性たちをも牽引してきた。フェミニズム・アートの先駆として注目を集める《人工胎盤》をはじめ、九州派から現在までの田部光子の活動を、作品と資料によって明らかにする。
会期中の主なイベント	2/5 記念講演会「ジェンダーの視点からみる近代の女性アーティストたち」 講師：吉良智子(日本女子大学学術研究員) 2/12 記念講演会「美術と性」 講師：中嶋泉(大阪大学大学院准教授) 2/26 つきなみ講座特別編「美術家・田部光子の挑戦」 講師：正路佐知子(当館学芸員)



# (1) 展示活動

## 企画展

### 田部光子展 「希望を捨てるわけにはいかない」



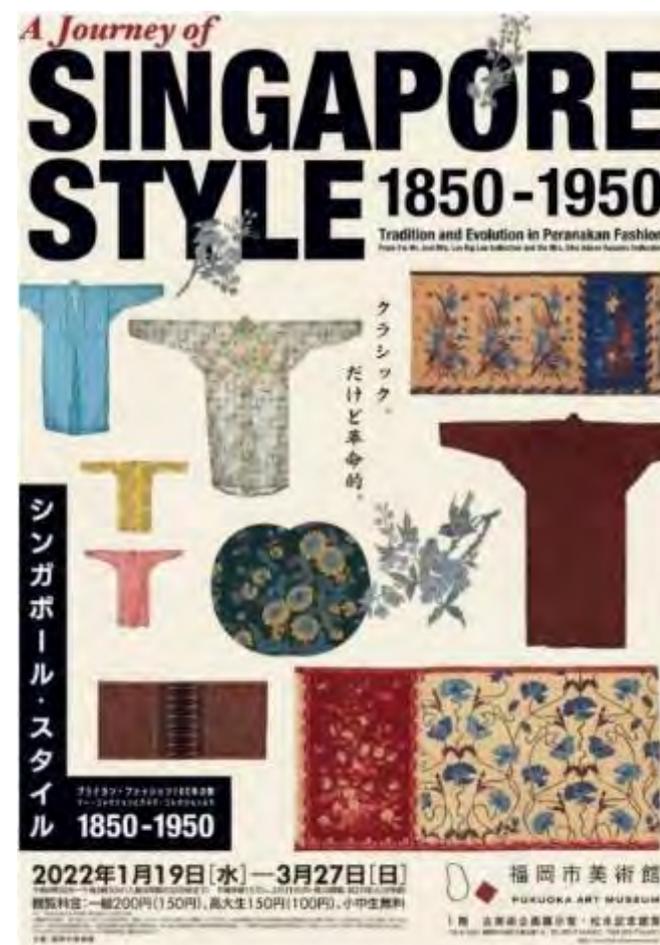
# (1) 展示活動

## 企画展

### シンガポール・スタイル 1850-1950

プラナカン・ファッション100年の旅 リー・コレクションとクスマ・コレクションより

会期	令和4年1月19日～3月27日 59日間
会場	古美術企画展示室
観覧者数	(開催中)
内容	シンガポールのリー・キップリー氏御夫妻は、アジア染織のコレクターとして知られている。2015年度にリー御夫妻より寄贈された東南アジアの衣装などを、受贈を記念して紹介。リー御夫妻寄贈の上着に、インドネシア染織のコレクター、エイコ・アドナン・クスマ氏より1998年度に寄贈されたバティックを取り合わせて展示する。
会期中の主なイベント	1/22 つきなみ講座特別編 「シンガポール・スタイルーコーデの極意」 講師：岩永悦子（当館館長）



# (1) 展示活動

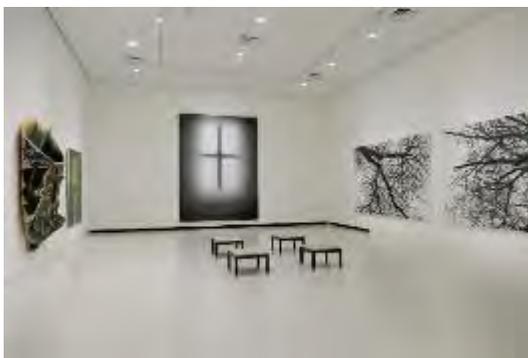
## 企画展

### シンガポール・スタイル 1850-1950



# (1) 展示活動

## コレクション展 近現代美術



コレクションハイライト

通期

近現代美術室A、C



富田溪仙展

3/30～5/9

近現代美術室A



新収蔵品展 (近現代美術)

3/30～5/9

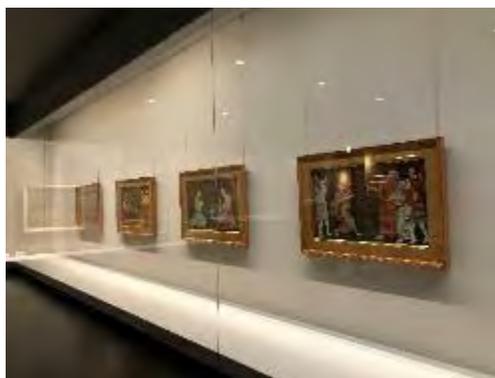
近現代美術室B



織田廣喜と平野遼  
(西本コレクションより)

3/30～5/9

近現代美術室B



近代日本の美術：明治から昭和  
初期まで①

5/18～8/1

近現代美術室A



野見山暁治・豊福知徳・菊畑茂  
久馬：地方と海外のはざままで

5/18～8/1

近現代美術室B

和田三造《博多繁昌の図》が  
できるまで

8/3～10/17

近現代美術室A



# (1) 展示活動

## コレクション展 近現代美術



ミニマルなかたち

8/3～10/17

近現代美術室A



近代日本の美術：明治から昭和  
初期まで②

10/19～12/26

近現代美術室A



特集展示：菊畑茂久馬

11/16～12/26

近現代美術室A



自画像のようなもの

10/19～12/26

近現代美術室A



KYNE 壁画展示

～2022年12月末まで

コレクション展示室最終壁面

# (1) 展示活動

## コレクション展 古美術



東光院のみほとけ

通期

東光院仏教美術室



田中丸コレクション  
古唐津の味わい

6/1~7/18

古美術企画展示室



新収蔵品展 (古美術)

4/13~6/13

古美術企画展示室



遊びと笑いの日本美術

9/14~11/14

古美術企画展示室



これであなとも仙厓通

11/16~2022/1/16

古美術企画展示室



かがやく螺鈿、はなやぐ蒔絵

11/16~2022/1/16

古美術企画展示室

# (1) 展示活動

## コレクション展 古美術



春の名品展

4/13～6/13

松永記念館室



ふくろもの  
—壺と瓶—

6/15～8/29

松永記念館室



秋の名品展

8/31～11/14

松永記念館室



古色蒼然  
時を重ねた美の世界

11/16～2022/1/16

松永記念館室



捧げものの世界

2022/1/19～4/10

松永記念館室

# (1) 展示活動

## 公募展

第52回福岡市美術展（令和3年3月30日～4月4日）

内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民の美術活動の振興を図ることを目的に毎年開催する公募展。</li> <li>・日本画、洋画、彫刻、工芸、書、写真、デザインの7部門について一般公募</li> <li>・デザイン部門を拡充</li> </ul>
実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出品点数739点</li> <li>・393点が入選、特別賞など入賞70点</li> <li>・観覧者数2,935人</li> </ul>



- ・第53回は令和4年3月23日～4月3日で開催予定（搬入期間が令和4年1月29日～30日のため出品数未集計）



第51回特別賞  
《4次元ポケット》



第52回特別賞  
《天-甘木絞りにてー》

## (2) 教育普及活動

### 教育普及活動について

「アートと生きる」を活動方針に、展覧会を見るだけではない、利用者がより能動的な学びと楽しみを得られる活動を「教育普及活動」として行っている。

また、美術館に来にくい来られない人も「利用者」として考え、美術を楽しめる企画を実施。

### 主な取組み

- ・福岡ミュージアムウィーク2021
- ・こども・家族向けプログラム（夏休みこども美術館、ファミリーDAY）
- ・大人向けプログラム（つきなみ講座、いきヨウヨウ講座）
- ・アウトリーチ活動（どこでも美術館アウトリーチ（遠隔地の学校、公民館等））
- ・学校向けプログラム（スクールツアー、レクチャー、ワークシート「みるみるシート」実施、どこでも美術館ティーチャーズプラス）
- ・ボランティア活動
- ・バリアフリーギャラリーツアー
- ・認知症患者のための回想法プログラム
- ・他の施設との連携

## (2) 教育普及活動

### ミュージアムウィーク2021

期間	令和3年5月18日～5月30日 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため対面のプログラムは中止もしくは延期
内容	「国際博物館の日」を記念し、市内の20の美術館・博物館が、期間中にさまざまな催しを実施するというもの。今回は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、オンラインでの活動のみ実施した。
主なイベント	<ul style="list-style-type: none"><li>・シンポジウム「新しい美術館像～コロナ禍のなかで考える」（7月31日に延期）</li><li>・聴覚障がい者のための目で聴くツアー（10月9日に延期）</li><li>・ボランティアによるオンラインギャラリーツアー（5/18、5/22 参加者数：8人）</li><li>・動画「美術館のおすすめスポット」12件（総再生回数：2874回（6月1日時点））</li></ul>



オンラインギャラリーツアーのようす



美術館のおすすめスポット「警備室きたむらさんのおすすめ」

## (2) 教育普及活動

### こども・家族向けプログラム

#### 夏休みこども美術館2021「これなあに？謎がいっぱい、古い美術」

期間	令和3年7月20日～9月12日 (新型コロナウイルス感染症拡大防止のため 8月9日より会期終了まで休館) 期間中の中学生以下の入場者数：334人
内容	毎年開催する子ども向けプログラム。 令和3年度は「謎」をテーマに古美術所蔵品を 使った子ども向け展覧会を開催。当館のマ スコットのキャラクター「こぶうしくん」に手 紙を書くワークシートを配布。もらった手紙 をブログで紹介した。また、関連事業として 対面ワークショップとオンラインでのワー クショップおよびオンラインギャラリートーク を実施。また、「夏休みこどもとしょかんSNS 版」では子ども向け図書をSNS上で紹介した。
主な イベント	・こどもワークショップ 「これなあに？推理してつくってみよう！」 (8/8【対面】 参加者数：30人 8/22【オンライン】参加者数：12人 ) ・これなあに？オンラインでみる謎がいっぱ い、古い美術 (7/31、8/1、17、18、19、20 参加者数：20人)



展示のようす

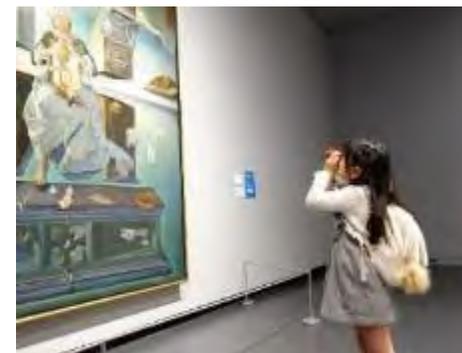


「これなあに？推理してつくってみよう！」のようす

## (2) 教育普及活動

### ファミリーDAY

期間	令和3年11月3～7日 期間中の中学生以下の参加者数：延べ956人
内容	<p>家族で美術と美術館を楽しんでもらうため、期間中、館内各所でワークショップ等を実施する企画。</p> <p>今年は、館内で子どもと保護者の鑑賞を助けるワークシートを2種類配布。対面のワークショップの他、オンラインギャラリートークやボランティアによる作品紹介動画の公開を行った。</p> <p>また、平日にはベビーカートツアーを実施した。なお、受付スタッフや見守りに当館ボランティアおよび学生ボランティアが従事した</p>
主なイベント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークシート 「かいとうキッズ 美術館の謎をとけ！」 「アート観察隊」</li> <li>・ワークショップ 「アーティストと一緒に風の彫刻をつくろう！」 「アフリカンプリントなバッジをつくろう」</li> <li>・ギャラリートーク 「初めてのベビーカートツアー」</li> <li>・オンラインギャラリートーク 「オンラインツアーで楽しむ福岡市美術館」</li> <li>・動画「おうちでアート1分コレクション紹介」5件 総再生回数：409回（11月7日時点）</li> </ul>



アート観察隊



初めてのベビーカートツアー



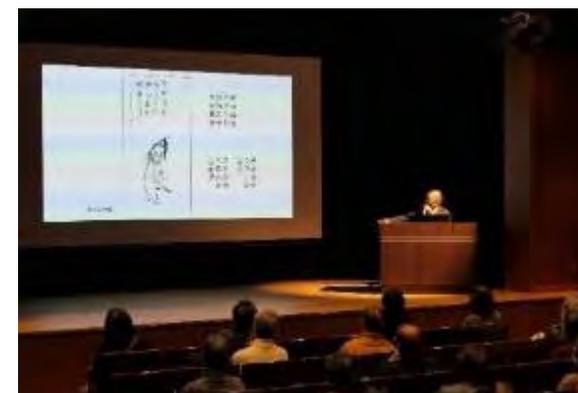
アーティストと一緒に風の彫刻をつくろう！

## (2) 教育普及活動

### 大人向けプログラム

#### つきなみ講座

期間	毎月1回(ただし6月中止) 参加者数：355人※12月末現在
内容	毎月1回学芸員をはじめとした美術館職員が、自身の研究や取組、興味について一般向けに話す講座。



#### いきヨウヨウ講座「想いを届けるメッセージ～銅版画でカード作り」

期間	令和4年3月5日、6日予定 参加者数18人予定
内容	65歳以上を対象としたワークショップ。令和3年度は作品鑑賞後、銅版画でメッセージカードをつくる。

#### ギャラリーツアー

内容	ボランティアが来館者に向け所蔵作品を3点紹介する対話型ギャラリーツアー。1日2回実施。ただし、 <u>令和3年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。</u>
----	-------------------------------------------------------------------------------------

#### 英語ツアー

内容	およそ週1回ボランティアが英語でコレクション展を紹介するハイライトツアー。ただし、 <u>令和3年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。</u>
----	-------------------------------------------------------------------------------

## (2) 教育普及活動

### アウトリーチプログラム

どこでも美術館 アウトリーチ

期間	令和3年6月～令和4年3月
内容	美術館に来にくい、あるいは来られない子どもや高齢者のために、学校や公民館、病院などに、所蔵品の複製画などの教材を持ち出し、鑑賞・制作活動を行うプログラム。
実施数	・学校 2件 108人 ・公民館等（子ども含む） 14件 248人(予定)



院内学級でのオンラインプログラム



公民館でのプログラム

## (2) 教育普及活動

### 学校向けプログラム

#### スクールツアー

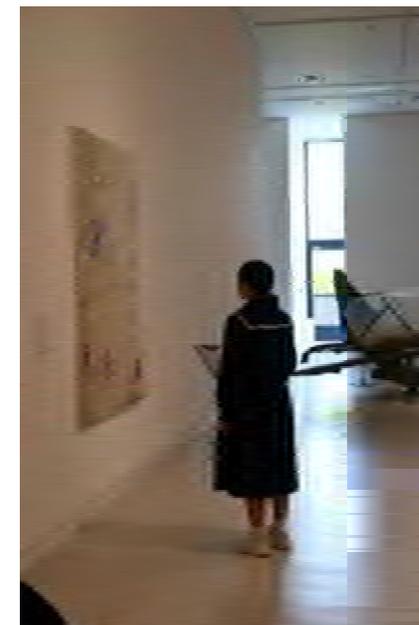
内容	ボランティアによる学校向け対話型鑑賞ツアー
実施件数	1件 165人 ※1月末現在

コロナ禍の中、対話型鑑賞ツアーの代替として下記も実施  
ワークシート「みるみるシート」

実施件数	6件 566人 ※1月末現在
------	----------------

#### レクチャー

実施件数	2件 50人 ※1月末現在
------	---------------



ワークシートを使って鑑賞をする中学生

### どこでも美術館 ティーチャーズプラス

内容	学校等に「どこでも美術館」の教材を貸し出し、授業に活用してもらうプログラム。
貸出件数	6件 ※1末日現在



染め・織りもののボックス

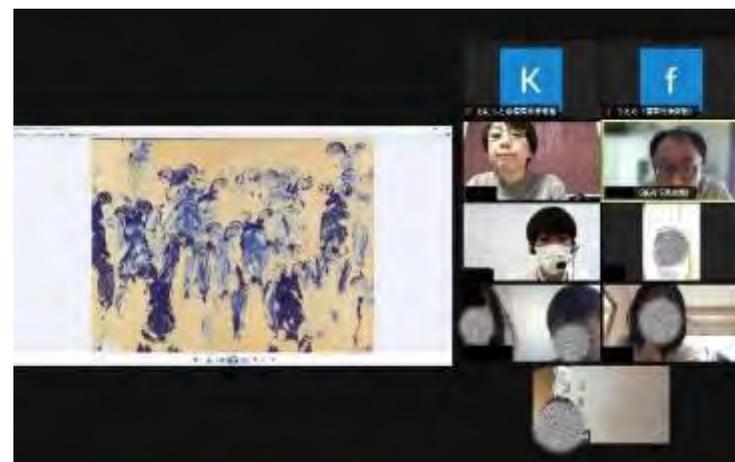
## (2) 教育普及活動

### ボランティア活動

内容	<p>当館では、昭和51年にボランティアを募集し、昭和54年の美術館開館と同時に活動を開始。</p> <p>現在、ギャラリーガイドボランティア、新聞情報ボランティア、図書整理ボランティア、美術家情報整理ボランティアが活動している。</p> <p>また、ギャラリーガイドボランティアの中から希望者を募り、令和元年5月から英語ボランティアの活動を開始した。</p> <p>なお、令和3年度は、ギャラリートツアーが中止となっているため、オンラインツアーなどを実施している。またオンラインで他館のボランティアとの交流なども行っている。なお、12月からは団体ツアーのみ実施。</p>
各ボランティア在籍数	<ul style="list-style-type: none"><li>・ ギャラリーガイドボランティア 86人</li><li>・ 新聞情報ボランティア 44人</li><li>・ 図書整理ボランティア 26人</li><li>・ 美術家情報整理ボランティア 15人</li><li>計 171人</li></ul>



新聞情報ボランティア活動のようす



ファミリーDAYでのオンラインギャリートークのようす

## (2) 教育普及活動

### バリアフリーギャラリーツアー

期間	令和3年10月9日、11月14日、令和4年1月16日
内容	視覚障がい者、聴覚障がい者、車椅子利用者のためのコレクション展示ギャラリーツアーを実施。
主なイベント	<ul style="list-style-type: none"><li>・聴覚障がい者のための目で聴くツアー (実施日：10月9日 参加者：8人)</li><li>・視覚障がい者のおしゃべりとてざわりのツアー (実施日：11月14日 参加者：9人)</li><li>・車いす利用者のためのゆったり車いす鑑賞ツアー (実施日：1月16日 参加者：2人)</li><li>・車いすを利用しない方の車いすで美術館ツアー (実施日：1月16日 参加者：5人)</li></ul>



聴覚障がい者のための 目で聴くツアー

### 認知症患者のための回想法プログラム

期間	令和4年2月実施予定
内容	認知症患者のためのオンライン回想法プログラム。所蔵品を手掛かりに、昔のことを語ってもらう。福岡アジア美術館と共働で実施予定。

## (2) 教育普及活動

### 令和3年度の新たな取組み

他の施設との連携

植物園で「想いの種」をつくろう！

期間	令和3年10月2日 参加者数：12人
内容	福岡市植物園と共同で行ったワークショップ。種を観察し、その体験をもとに自分の想いを種の形になぞらえ絵で表現するというもの。なお、この内容は、当館で2005年に実施したアーティスト小林重予によるワークショップをもとに再構成したもの。作品鑑賞には、寄贈された小林の作品を使用した。



福岡市美術館と油山市民の森で「想いの種」をつくろう！

期間	令和3年11月23日、28日 参加者数：23日 16人 28日 19人
内容	油山市民の森と共同で行ったワークショップ。内容は植物園でのものとはほぼ同じだが、2日にわたって実施し、参加者が制作した種の形の作品は、粘土にて造形した。



# インカ・ショニバレCBE 《ウィンド・スカルプチャー (SG) II》 設置記念講演会・シンポジウム



福岡市美術館  
FUKUOKA ART MUSEUM

## 講演会 インカ・ショニバレCBE 《ウィンド・スカルプチャー (SG) II》 が福岡市美術館に来るまで

期間	令和3年7月10日 参加者数：47人
内容	インカ・ショニバレCBE 《ウィンド・スカルプチャー (SG) II》が当館に設置されるまでの経緯等を話した。講師は当館館長：岩永悦子がつとめた。



## シンポジウム 新しい美術館像～コロナ禍の中で考える

期間	令和3年7月31日 参加者数：58人
内容	国立新美術館長：逢坂恵理子氏を迎え、美術館の今後の展望について基調講演にご登壇いただいた。その後、逢坂氏、当館総館長：中山喜一郎、当館館長：岩永悦子の3人がパネリストとして登壇し、未来の美術館像について対談した。



## (3) 収集活動（購入、寄贈）

### 購入

#### ◆新規収集

- ・ インカ・ショニバレCBE 《ウィンド・スカルプチャー（SG）II》 2021年 [2018年度収集決定]
- ・ 梅田哲也 《壁の終わり》 4点 2019年
- ・ ソシエテイルフの写真（撮影者不詳） 《イルフ逃亡》 2点 1939年頃
- ・ 川辺ナホ 《水平線は傾かない》 2013年
- ・ 《加彩武人俑》 唐時代 8世紀
- ・ 《花文様更紗腰布》 インド 19世紀
- ・ 《インド更紗裂》 20点 インド 16～19世紀
- ・ 《インド更紗貼交布》 5点 インド 17～19世紀

#### ◆福岡市文化芸術振興財団からの買戻し

- ・ インカ・ショニバレCBE 《桜を放つ女性》 2019年

### 寄贈

- ・ 近現代美術 273点（油彩、日本画、素描、版画、写真、彫刻、書籍、その他）
- ・ 古美術 12点（絵画、染織、写真）

# (3) 収集活動（購入、寄贈）

購入

◆2018年度収集決定、本年度設置（近現代美術）



インカ・ショニバレCBE 《ウィンド・スカルプチャー（SG）II》

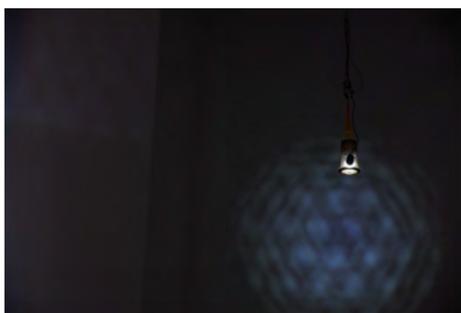
2021年

ガラス強化ポリエステル樹脂、アクリル塗料、鋼  
700cm×250cm×200cm

# (3) 収集活動 (購入、寄贈)

購入

◆新規収集 (近現代美術)



梅田哲也《壁の終わり》

2019年

電球、ネット他  
サイズ可変

撮影者不詳《イルフ逃亡》

1939年頃

ゼラチンシルバークプリント  
各10.2×15.3cm

川辺ナホ《水平線は傾かない》

2013年

ガラス、木炭、額  
各50×40cm

# (3) 収集活動 (購入、寄贈)

購入

◆新規収集 (古美術)

※「ふくおか応援寄付」による



《加彩武人俑》

唐時代 8世紀

陶製・彩色 高さ35.0cm  
松永安左エ門旧蔵品



《花文様更紗腰布》

インド 19世紀

木綿

234 × 107cm



《花文様更紗裂》

インド 16世紀

木綿・断片

30.3 × 21.7cm



《インド更紗貼交布》

インド17-19世紀

木綿・断片

30.3 × 21.7cm

# (3) 収集活動 (購入、寄贈)

## 寄贈

### ・近現代美術 273点

(油彩、日本画、素描、版画、写真、彫刻、書籍、その他)



奈良原一高「人間の土地」  
シリーズなど

211点

写真



森山安英《アルミナ頌05》  
など

13点

油彩等



久野久《海のショーウインドウ》など

24点

写真

# (3) 収集活動 (購入、寄贈)

## 寄贈



菊畑茂久馬 《奴隷系図（三本の丸太による）》

1961年（2016年再制作）

木材他 彫刻



KYNE 《Consider Others》など2点

2020, 2021

油彩等、版画



高橋渡（発行） 《irf 1》

1940年

その他



和田三造 《深苑》など9点

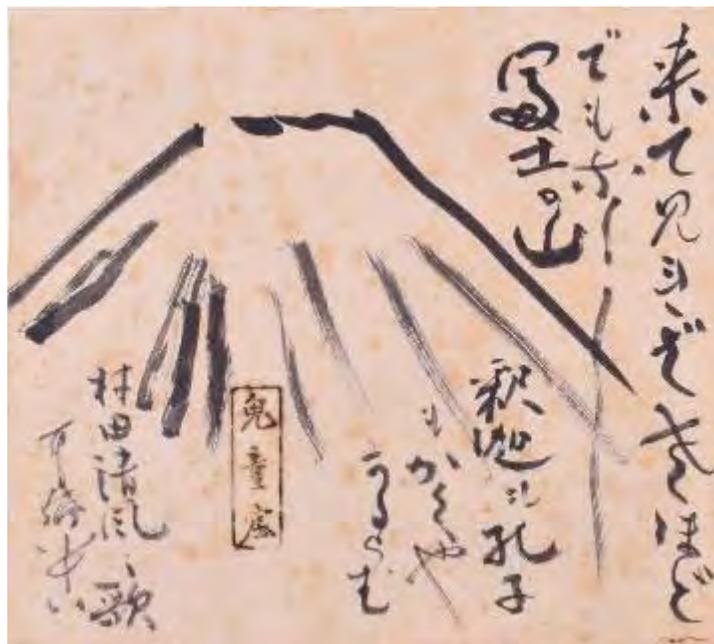
1950, 1952, 1959

日本画、書跡

# (3) 収集活動（購入、寄贈）

## 寄贈

- ・ 古美術 12点  
（絵画、染織、写真）



### 《富士画賛》

松永安左エ門  
昭和37年（1962）

紙本墨画・色紙  
24.1 × 27.1cm



### 《草花星文刺繍上衣（バジュプンドウック）》

1920-1930年代

織：ヨーロッパ 縫製：ペナン、マレーシア

化学繊維 58.5 × 136.3cm

## (4) 調査・研究活動

### 紀要の発行

『福岡市美術館研究紀要』  
第10号  
(令和4年3月発行予定)



# (5) 貸館利用

## 貸館利用

### 【展示室】

- ・ 市民等の創作活動の発表の場としてギャラリー（最大6室）特別展示室を貸出（年2回募集、1週間単位での利用）
- ・ 「キングダム展」（8/3～9/26）
- ・ 「DRAG QUEEN No Light, No Queen」（11/30～12/12）
- ・ 令和3年度利用状況 84件 82,349人 ※12月末現在



### 【ホール等】

- ・ 文化芸術・学術に関する講演会や講座、ワークショップ、イベントなどの利用に際してミュージアムホール、レクチャールーム、アートスタジオのほか、ロビーや1,2階の屋外を貸出
- ・ 令和3年度利用状況 220件 24,765人 ※12月末現在

# (6) 広報・集客に関すること 等



## 広報活動

- ・ 季刊誌「エスプラナード」を年4回、各号10,000部発行
- ・ 展示・イベント実施等に関する報道・出版各社への情報提供
- ・ HPブログやFacebook, Twitter, Instagramなど各種SNSによる美術館情報の発信



## (6) 広報・集客に関すること 等

### 広報活動

#### ・オンライン大作戦!

新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴う臨時休館中、また開館後も美術館に行きづらい方や、来られない方々のために、SNSやHPブログを通して積極的に情報を発信。

### その他

#### ・Fukuoka City Wi-Fi のエリア拡充

1、2階ロビーは設置済みであったが、各展示室等についても稼働開始。

#### ・デジタルサイネージの設置

令和3年12月にアプローチ広場に設置。(写真右端)

市域の観光動画や、市美術館のプロモーション動画、市美術館で開催する特別展の情報等を発信開始。



## (6) 広報・集客に関すること 等

### 集客事業

- ・ 展示以外でも美術館を気軽に利用してもらえるよう、演劇や演奏会を実施

※ 美術館PFI事業を担う福岡アートミュージアムパートナーズ(株)主催

- ・ 令和3年度は4件のイベントを実施し、来館者1,502人となった。(令和2年度は10件予定していたが新型コロナの影響により5件、来館者1,637人)



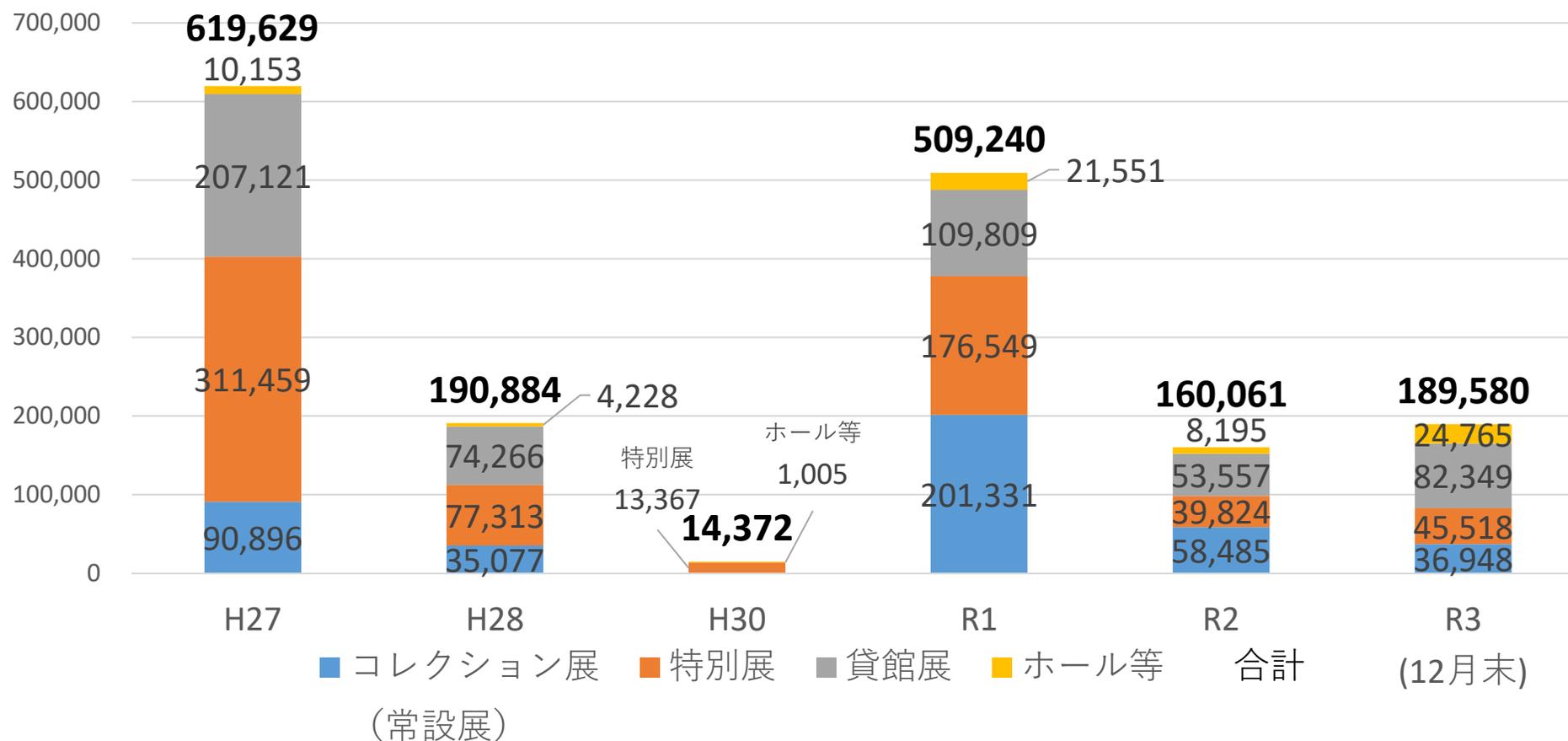
### その他 (連携・協力事業等)

- ・ 福岡ミュージアムウィーク2021  
(新型コロナウイルスの影響によりオンラインコンテンツのみ実施)
- ・ 地下鉄大濠公園駅の賑わい創出  
(3番出口装飾)



# 3 施設利用状況

## 施設利用者数の推移



※H28.9.1～30.3.20までリニューアル改修による休館

※新型コロナウイルスの影響によりR2.2.27～3.20、4.5～5.18、R3.5.12～6.20、8.9～9.13は臨時休館  
(ただし、令和3年度は一部展覧会及びイベントのみ休館中も開催)

### 新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴う臨時休館

【令和元年度】 2/27～3/20

【令和2年度】 4/4～5/18

【令和3年度】 5/12～6/20、8/9～9/13

### 新型コロナウイルス感染症対策について

- ・ 入館時の検温（1,2Fにサーモカメラ設置）マスク着用及び手指消毒の徹底
- ・ 施設内の定期的な消毒
- ・ 利用人数の制限（展示室，ホール等）
- ・ 券売カウンターやレジでの飛沫感染予防（アクリル板等の設置）
- ・ 受付時等の来館者同士の距離の確保
- ・ キッズスペースの利用中止 等

# 福岡市美術館 令和4年度事業計画

令和4年1月31日

令和3年度福岡市美術館協議会

## 1 観覧者目標

## 2 主な事業、取組みについて

展示（特別展・企画展）

教育普及活動

ほか

# 1 観覧者目標

## 目標値：34.4万人

(参考：実績)

令和3年度：164,815人（12月末）、令和2年度：151,866人、令和元年度：487,689人

### ◇主な取り組み

#### ・ 特別企画展の実施

「ミナ ペルホネン/皆川明 つづく」、「tupera tuperaのかおてん.」、  
「国宝 鳥獣戯画と愛らしき日本の美術」、「藤野一友と岡上淑子」の  
4件開催予定

#### ・ 新企画「ホワイトウォールプロジェクト」を開催

## 2 主な事業、取組みについて

### 特別展

ミナ ペルホネン / 皆川明 つづく

会期	令和4年4月23日～6月19日 50日間
主催	福岡市美術館、西日本新聞社他
内容	ファッションデザイナー、皆川明（1967-）が立ち上げたブランド「ミナペルホネン」は、長年着用できる普遍的な価値を持つ「特別な日常服」をコンセプトとし、日本各地の生地産地と深い関係性を紡ぎながら、独自のものづくりを続けてきた。生地や衣服、インテリア、食器等のプロダクトに加えて、デザインの原画、映像、印刷物、皆川明の挿絵など創作の背景を浮き彫りにする作品群や資料も併せて展示。
会期中の主なイベント	ワークショップ、講演会などを予定。



東京都現代美術館での展示風景

## 2 主な事業、取組みについて

### 特別展

tupera tuperaのかおてん.

会期	令和4年7月1日～8月21日 45日間
主催	福岡市美術館、西日本新聞社
内容	亀山達矢と中川敦子によるクリエイティブ・ユニットtupera tuperaは、2002年の活動開始以来、絵本やイラストレーションをはじめ、工作、ワークショップ、アートディレクションなど、様々な分野で幅広く活動している。彼らにとって「顔」はアイデアの源泉。本展では、「顔」をテーマに、絵本原画に加え、映像作品、インスタレーションなどを展示予定。
会期中の 主な イベント	tupera tuperaによるワークショップを予定

tupera tupera の  
かおてん.



tupera tupera 《床田愉男》  
撮影：阿部高之

## 2 主な事業、取組みについて

### 特別展

#### 国宝 鳥獣戯画と愛らしき日本の美術

会期	令和4年9月3日～10月16日 44日間
主催	福岡市美術館、高山寺、西日本新聞社、TVQ九州放送、朝日新聞社
内容	<p>京都・栴尾の高山寺に所蔵される国宝《鳥獣戯画》は、日本美術の中でも最も有名であり、また、人びとから愛される作品である。</p> <p>この絵巻の魅力が「愛らしさ」にあることは言を俟たないだろう。画面の中を所せましと駆け回る動物たちの愛らしい姿に、子どもからお年寄りまで誰もが思わず頬を緩めてしまう。</p> <p>本展では、《鳥獣戯画》の魅力を支える、動物モチーフと表現の簡潔さとユーモア、というテーマに沿って、日本美術を紹介する。</p>
会期中の 主な イベント	記念講演会等



《鳥獣人物戯画 甲巻》(部分)(国宝)  
平安時代 12世紀  
京都・高山寺蔵 画像提供  
：東京国立博物館  
Image: TNM Image Archives

## 2 主な事業、取組みについて

### 特別展

国宝 鳥獣戯画と愛らしき日本の美術

会期 令和4年9月3日～10月16日 44日間



## 2 主な事業、取組みについて

### 特別展

#### 藤野一友と岡上淑子

会期	令和4年11月9日～令和5年1月9日 48日間
主催	福岡市美術館、読売新聞社他
内容	藤野一友（1928-1980）と岡上淑子（1928-）は戦後、シュルレアリスムを受容しながら、それぞれ絵画とフォトコラージュという分野で独自の作品世界を生み出した。1951年ごろ文化学院で出会った藤野と岡上は、1957年に結婚。同じ時代に活動を開始した2人の作品には、女性の身体の表象や幻想的な世界観に共通点も見出せる。本展では藤野と岡上の活動に迫るとともに、作品中の身体表象のあり方やパートナーシップにも注目する。
会期中の 主な イベント	計画中



藤野一友



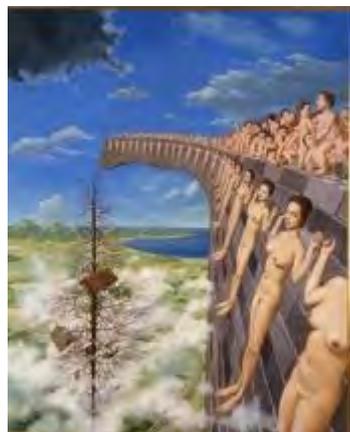
岡上淑子

## 2 主な事業、取組みについて

### 特別展

藤野一友と岡上淑子

会期 令和4年11月9日～令和5年1月9日 48日間



## 2 主な事業、取組みについて

### 企画展

「国宝 鳥獣戯画と愛らしき日本の美術」展関連企画  
明恵礼讃 — “日本最古之茶園”高山寺と近代数寄者たち

会期	令和4年8月31日（水）～10月23日（日） 47日間
会場	古美術企画展示室
主催	福岡市美術館、高山寺、西日本新聞社、TVQ九州放送
内容	昭和6年（1931）に京都・高山寺で営まれた明恵上人七百年遠忌法要に際し、時の数寄者たちが茶室「遺香庵」とともに寄進した茶道具の数々を公開。彼らが仰ぎ見つめた高山寺、明恵のイメージを浮き彫りにします。
会期中の 主な イベント	講演会等



遺香庵（栞尾高山寺境内）

## 2 主な事業、取組みについて

### コレクション展 近現代美術



コレクションハイライト

通期

近現代美術室A、C



新収蔵品展

3/24~5/29

近現代美術室A



絵になる景色 吉田博を中心に

3/24~5/29

近現代美術室B



森山安英の絵画—アルミナ頃から  
ヒロシマシリーズまで

6/9~8/21

近現代美術室B



変貌する絵画—アンフォルメル、  
具体、九州派

8/23~10/30

近現代美術室B

## 2 主な事業、取組みについて

### コレクション展 近現代美術



一本の線のためには...

8/23～10/30

近現代美術室A



福岡をみる

11/1～12/27

近現代美術室A



奈良原一高  
<無国籍地> / <人間の土地>

11/1～12/27

近現代美術室B



九州の女性アーティスト

1/5～3/19

近現代美術室A

## 2 主な事業、取組みについて

### コレクション展 古美術



流れゆく美 日本美術と水

3/30～5/29

古美術企画展示室



新収蔵品展

3/30～5/29

古美術企画展示室



春の名品展

4/12～6/19

松永記念館室



田中丸コレクション  
九州やきもの風土記 陶器編

5/31～8/28

古美術企画展示室



松永耳庵と益田鈍翁

6/21～9/4

松永記念館室



秋の名品展

9/6～11/13

松永記念館室



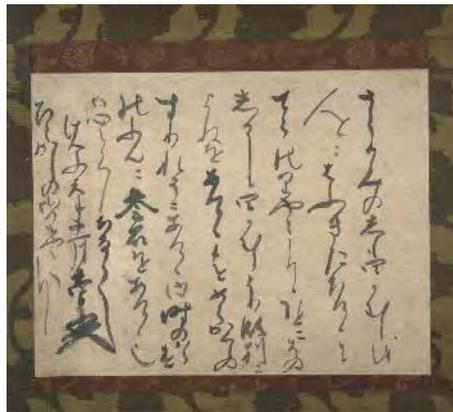
屏風絵の世界

10/26～12/18

古美術企画展示室

## 2 主な事業、取組みについて

### コレクション展 古美術



老樗荘の松永耳庵

11/15～1/22

松永記念館室



仙厓展

12/20～2/19

古美術企画展示室



松永耳庵と同時代の美術家

1/24～4/2

松永記念館室



東南アジア美術を旅する  
タイ、カンボジア、ミャンマー

2/21～4/9

古美術企画展示室

## 2 主な事業、取組みについて

### 教育普及活動での主な取組み

- ・ 学校との連携（通年、スクールツアー等）
  - ・ 福岡ミュージアムウィーク2022（5月14日～22日）
  - ・ 夏休みこども美術館2022（6月9日～8月21日）
  - ・ ファミリーDAY（11月3日～6日）
  - ・ つきなみ講座（毎月1回）
  - ・ いきヨウヨウ講座（令和5年3月）
  - ・ どこでも美術館 アウトリーチ（7月～9月、1日）  
ティーチャーズプラス（通年）
  - ・ バリアフリーギャラリーツアー（9月）
  - ・ ボランティア活動
  - ・ 認知症患者のための回想法
  - ・ 他の施設との連携（油山市民の森）
- ★コロナ禍後も、オンラインでの活動は、美術館に来られない人を対象に実施予定。



福岡市美術館  
FUKUOKA ART MUSEUM

# 福岡アジア美術館 令和3年度事業報告

令和4年1月31日

令和3年度福岡市美術館協議会

## 1 大量寄贈と全国巡回展の開催

インド大衆美術の個人コレクターである黒田豊氏から約5000点の作品・資料の寄贈を受け、特別企画展「ヒンドゥーの神々の物語」展を開催した。



## 2 展覧会の広報強化

展覧会の広報強化を図るために、当館広報誌の形式・内容を変更し、部数も3万部に増刷。またコレクション展のチラシも新たに1万部印刷した。



## 3 アートカフェ事業により賑わいを創出

7階アートカフェにおいて、福岡市文化芸術振興財団と連携し、九響によるコンサートなどを実施し集客に努めた。

## 1 概要

## 2 事業について

- (1) 展示活動（特別展、コレクション展）
- (2) 収集活動（購入、寄贈、寄託）
- (3) 交流事業
- (4) 貸館利用
- (5) 広報・集客に関すること 等

## 3 施設利用状況

## 4 その他

新型コロナウイルス感染症対策について

# 1 概要

- 開館 1999年3月6日開館
- 規模 鉄骨鉄筋コンクリート造 地下4階地上13階のうち1階及び7階、8階  
建物面積151,595.91㎡のうち区分所有 専有面積9,101.05㎡
- 展示室
  - 7階 アジアギャラリー、企画ギャラリー
  - 8階 交流ギャラリー
- その他施設
  - 7階 アートカフェ、ミュージアムショップ、キッズコーナー
  - 8階 あじびホール、交流スタジオ、図書閲覧室
- ギャラリー観覧時間 午前9時30分～午後6時（金曜・土曜は午後8時まで）  
※ギャラリー入室は閉室30分前まで
- 開館時間 午前9時30分～午後7時30分 水曜日休館  
（金曜・土曜は午後8時まで）

# 1 概要

## ■ 組織

※令和4年1月現在

- ・ 総館長、
- ・ 館長（運営課・学芸課総括）

運営課長	—	運営係 係長1、事務2、会計年度任用職員5
学芸課長	—	収集展示係 係長1、学芸員2、再任用1、会計年度任用職員3
	—	交流係 係長1、学芸員1、会計年度任用職員3

## ■ 令和3年度予算

内容	予算額	備考
【歳出】	253,431千円	施設管理、交流事業、展覧会経費、資料収集費 など
【歳入】	33,368千円	施設使用料、常設展観覧料、ふくおか応援寄付 など

## 2 事業について

- (1) 展示活動（特別展、コレクション展）**
- (2) 収集活動（購入、寄贈、寄託）**
- (3) 交流事業**
- (4) 貸館利用**
- (5) 広報・集客に関すること 等**

# (1) 展示活動

## おいでよ！絵本ミュージアム2021

会期	令和3年7月15日～8月22日 39日間
主催	福岡アジア美術館、西日本新聞社、TNCテレビ西日本、NPO法人子ども文化コミュニティ
入場者数	25,765人
内容	15回目となる今回は、2年ぶりに福岡アジア美術館での 展覧会形式での実施となり、「絵本の力」をテーマに、 コロナ禍における子どもたちの成長と新しいスタイルで の絵本ミュージアムの可能性を、五感で楽しめる展示空 間として展開した。
会期中の 主な イベント	<ul style="list-style-type: none"><li>・ MAYA MAXXと自画像を描こう！ワークショップ</li><li>・ はたこうしろう作『こんにちは！わたしのえ』 絵をつくろう！ワークショップ</li></ul>



展示風景

# (1) 展示活動

## ヒンドゥーの神々の物語

会期	令和4年1月2日～3月29日 75日間
主催	福岡アジア美術館、西日本新聞社、福岡市文化芸術振興財団
入場者数	見込み 13,000人
内容	日本有数のインド大衆美術の個人コレクションを核に、ヒンドゥー神話のイメージをたどる企画展。古代の出土品にはじまり、17世紀以降の優美な更紗やガラス絵、大衆文化を彩った印刷物、現代の神話画など、約500点の作品・資料を通して、豊穡なる神々の世界を紹介。岡山オリエント美術館、古代オリエント博物館にも巡回する。
会期中の主なイベント	インド舞踊（インド総領事館協力）、黒田豊氏ギャラリートーク、スパイス作りワークショップなど

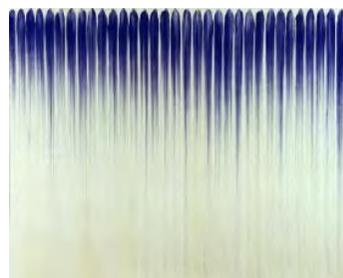


# (1) 展示活動

## コレクション展 アジアの近現代美術



黎明期から激動の現代へ  
通期



感覚の宇宙—アジアの抽象美術  
3/21 ~ 6/23



虫・ムシ・むし  
—アジア美術で虫あつめ！  
6/25 ~ 9/22



わが黄金のベンガルよ  
9/23 ~ 12/25



ひとびとの物語  
—南アジアの近現代美術  
R4. 1/2 ~ 3/29

## あじびコレクションX コーナー展示



ベンガル派と日本  
4/15 ~ 6/22



怪物たちの時代  
6/24 ~ 9/21



越境する柳景塚と郭仁植  
9/23 ~ 12/25

## (2) 収集活動（購入、寄贈、寄託）

購入

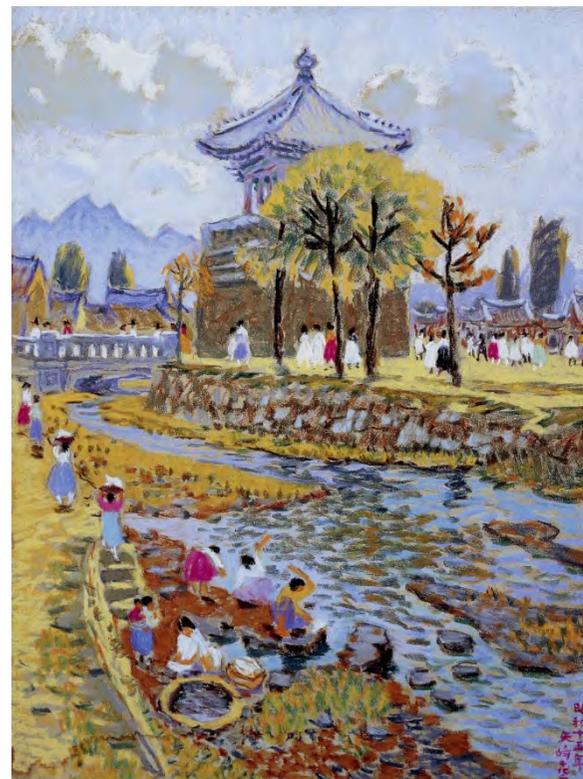
絵画2点



《建国忠霊廟》

矢崎千代二（日本）

60.2×90.5 cm、パステル、1941年



《京城》

矢崎千代二（日本）

60.3×45.5 cm、パステル、1940年

## (2) 収集活動（購入、寄贈、寄託）

寄贈

立体1点、絵画3点、版画523点



《オームの中のダッタトレヤ》

作者不詳（インド）

23×16 cm、オフセット・紙、20世紀中頃



《金剛薩埵菩薩図》

作家不詳（ネパール）

37.0×26.6 cm、顔料・布、1980-90年代



《自然との共生Ⅳ》

アラク・ロイ（バングラデシュ）

90×150×26 cm、立体、2002年

## (3) 交流事業

### レジデンス事業

#### 美術作家招聘事業

内容	海洋生物のカラフルなソフトスカルプチャーをかぎ針編みでつくる <b>ムルヤナ（インドネシア）</b> を招聘し、海の中の生態系をインスタレーションとして滞在制作する予定だったが、コロナのため今回はオンラインで実施。
実施期間	令和4年2-3月を予定（オンライン・レジデンス）



### 受入支援事業

内容	シンガポールの「ユナイテッド・オーバーシーズ銀行絵画展」受賞者2名（マレーシア在住）を、それぞれ1カ月受け入れ、市民との交流事業を実施。
招聘期間	（新型コロナウイルスの影響によりR4年度に延期）



## (3) 交流事業

### 地域交流事業

博多リバレイン灯明（「博多灯明ウォッチング」同時開催）

内容	博多リバレインが毎秋開催している「博多リバレイン灯明」に、招聘事業で滞在しているアーティストが地上絵の制作をおこなう
招聘期間	(新型コロナウイルスの影響により中止)



### アーカイブ展示

あじびレジデンスの部屋

会期	令和3年4月15日～12月25日
会場	アジアギャラリーB
内容	交流事業の中心である招聘事業および受入支援事業の過去の取り組みをテーマを設けて紹介した。 第1期：レジデンスことはじめータン・ダウ 第2期：つくってふれてアジアの文化 第3期：寺社を訪ねて



# (3) 交流事業

## 学校との連携

### スクールプログラム

内容	アジアギャラリーの鑑賞、アジアのアーティストとのワークショップ、アーティストや研究者や学芸員によるトーク、アートカードによる授業など
実施件数	14件 516人 ※12月末現在



## ボランティア事業

内容	案内・解説：作品解説や施設案内、図書資料：配架整理および蔵書点検、アーカイブ：新聞・雑誌掲載記事のスクラップと整理、広報：広報誌や企画展ポスターなどの発送、読み聞かせ：絵本や紙芝居の読み聞かせ、活動支援：研修等の企画、交流：招聘アーティストのサポート <b>(新型コロナウイルスの影響により一部活動休止)</b>
登録人数	194人 ※12月末現在



## (3) 交流事業

### オンライン・ワークショップ

ベトナムのお面を作ろう！

実施日	令和3年7月24日 10時～13時
参加人数	6組15人（子ども9人、保護者6人）
内容	2019年の招聘美術作家レ・ヒエン・ミン（ベトナム）の考案したワークショップを体験。完成後はオンラインで福岡にいる参加者とベトナムにいる作家をつないで交流を図った。



マスキングでインドの文様を作ろう！

実施日	令和3年11月27・28日 10時～14時30分
参加人数	18組43人（子ども23人、保護者20人）
内容	2017年の招聘美術作家クルパ・マーヒジャー（インド）の考案したワークショップを体験。完成後はオンラインで福岡にいる参加者とインドにいる作家をつないで交流を図った。



# (4) 貸館利用

## 貸館利用

- ・ 市民等の創作活動の発表の場としてギャラリー、あじびホール、アートカフェを貸出（ギャラリーは年2回募集、原則1週間単位利用）
- ・ 令和3年度利用状況（12月末）

### (1) 協力企画展

- ① 藤井フミヤ展（50日）  
（R3.9.4～10.31） 8,890人
- ② ディズニープリンセス展（75日）  
（R4.1.2～3.27）【開催中】

### (2) その他貸館

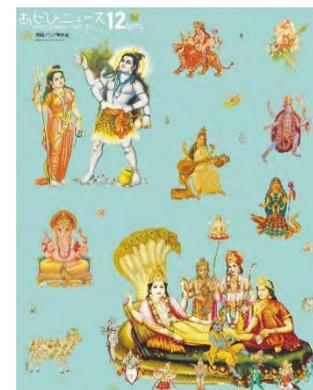
企画ギャラリー（131日）	17件 18,951人
交流ギャラリー（143日）	24件 9,417人
あじびホール（63日）	51件 4,276人



## (5) 広報・集客に関すること 等

### 広報活動

- ・ 広報誌「あじびニュース」 Vol.85 6,000部発行 Vol.86は、誌面リニューアルとして誌面デザインを刷新し 30,000部発行した。
- ・ 特別展広報として、ポスター900部およびチラシ25,000部を全国各地の美術館や公共施設、店舗、大学等 約850件に送付
- ・ SNSを活用し、館の運営全般や展示にまつわる事柄を紹介  
Facebook : 運営上の告知及び、展覧会にまつわるブログ記事等発信のおしらせ  
Instagram : 「おうちでコレクション展」と題した展示作品紹介 (学芸課)  
Twitter : 展覧会案内、イベントの案内、所蔵品紹介など



### おうちであじび

- ・ R2年2月の臨時休館中に当館のコレクションや展示に触れてもらうことを目的に開始した情報発信を現在も継続中。
- ・ おうちでコレクション展 (画像・動画による所蔵品紹介)
- ・ おうちで知りたいアジアのアート (コレクションに関するエッセイ)
- ・ おうちでアートカフェ (スタッフによる蔵書紹介)

## (5) 広報・集客に関すること 等

### 集客事業・連携・協力事業等

- ・福岡ミュージアムウィーク2021 (新型コロナウイルスの影響により中止)
- ・福岡市文化芸術振興財団との連携
  - 九響@アートカフェ ウィンターコンサート (R3.12.12)
  - ofa atu ミニコンサート
    - ～音楽・絵本とトンガのおはなし～ (R3.12.19)
    - ナマステ・サンデー@アートカフェ (R4.2.13 予定)



九響@アートカフェ



ofa atu ミニコンサート  
～音楽・絵本とトンガのおはなし～

### その他

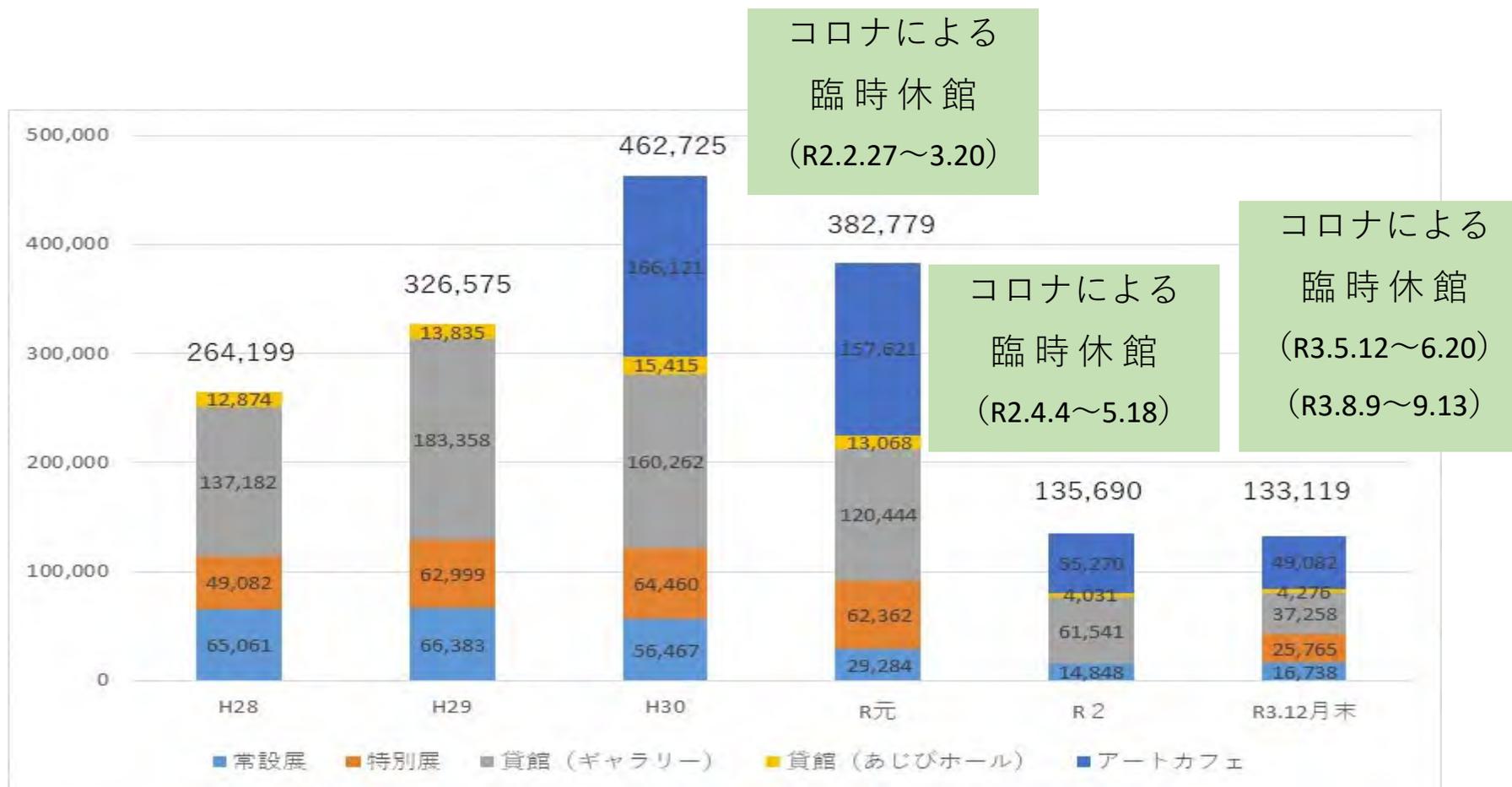
- ・ Fukuoka City Wi-Fiのエリア拡充

7階は設置済みであったが、8階の各施設についても稼働開始。

# 3 施設利用状況

## 施設利用者数の推移

(単位：人)



### 新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴う臨時休館

【令和元年度】 2/27～3/20 【令和2年度】 4/4～5/18

【令和3年度】 5/12～6/20、8/9～9/13

### 新型コロナウイルス感染症対策について

- ・ 入館時の検温（7階サーモカメラ設置）、マスク着用及び手指消毒の徹底
- ・ 施設内の定期的な消毒
- ・ 利用人数の制限（展示室、ホール等）
- ・ 券売カウンターやレジでの飛沫感染予防（アクリル板等の設置）
- ・ 受付時等の来館者同士の距離の確保
- ・ キッズコーナーの利用中止 等

# 福岡アジア美術館 令和4年度事業計画

令和4年1月31日

令和3年度福岡市美術館協議会

## 1 観覧者目標

## 2 主な事業、取組みについて

展示事業：特別展

コレクション展

交流事業：レジデンス事業

文化芸術を活用した賑わい創出事業

美術教育事業

# 1 観覧者目標

## 目標値：29.4万人

(参考：実績)

令和3年度：84,037人（12月末）、令和2年度：80,420人、令和元年度：225,158人

### ◇主な取り組み

#### ・特別企画展の実施

「水のアジア」、「おいでよ！絵本ミュージアム2022」の2件開催予定

#### ・アジア美術学習サイトの製作

アジア美術の歴史や魅力等を学ぶウェブサイトを段階的に製作

#### ・アートカフェのユニークベニュー

アートカフェの賑わい創出事業を世界水泳の時期を中心に戦略的に展開

#### ・協力企画展の実施

「ジブリ展」及び3つの企画展を開催予定（展覧会名は公表前のため非公開）

## 2 主な事業、取組みについて

### 特別展

#### 水のアジア

会期	令和4年4月8日～7月10日 81日間
主催	福岡アジア美術館、西日本新聞社
内容	第19回FINA世界水泳選手権2022福岡大会を記念した展覧会。水にまつわる神話にヒントを得た作品、豊かな命を育む自然の生態系を描いた作品、水に様々な社会問題を映した作品、作家それぞれの記憶にある水を表現した作品など、約30点を紹介。世界水泳の開会式が行われる会場の芝生広場に、風の吹き抜ける魚のベンチを置き、人びとに憩いの場を提供する。
会期中の 主な イベント	トークイベント、演奏会など



## 2 主な事業、取組みについて

### 特別展

#### おいでよ！絵本ミュージアム2022

会期	令和4年7月19日～8月28日 41日間
主催	福岡アジア美術館、西日本新聞社、TNCテレビ西日本、NPO法人子ども文化コミュニティ
内容	子どもたちの感性や想像力・創造力を育むために、五感に働きかける様々な仕掛けで、絵本の世界に入り込めるような空間をプロデュースする展覧会。16回目となる今年も、約1000冊の絵本と原画の展示や様々なイベントを通して、子どもならではの感性の大切さを伝える。
会期中の主なイベント	ワークショップ等



過去の会場風景

## 2 主な事業、取組みについて

### コレクション展 アジアの近現代美術



黎明期から激動の現代へ  
通期



○△□  
7/16 ~ 12/25



不安の時代—  
2000年代のビデオアート  
7/16 ~ 12/25



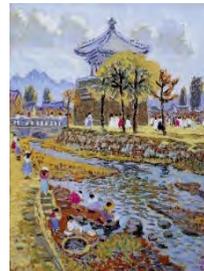
「私」から問う—  
多様化するアジアの現代写真  
R5. 1/2 ~ 3/21



あじびでGO GO!  
乗り物大集合  
7/16 ~ 9/20



旅立ちのとき  
R5. 1/2 ~ 3/21



日本作家が描いた  
〈朝鮮〉  
7/16 ~ 10/4



ベトナム・モダンの  
写し鏡—タ・ティの作品世界  
10/6 ~ 12/25



POSTWAR/戦後  
R5. 1/2 ~ 3/21

### あじびコレクションX コーナー展示

## 2 主な事業、取組みについて

### レジデンス事業

### 文化芸術を活用した賑わい創出事業

(旧「博多旧市街まるごとミュージアム」)

会期	(春) 令和4年5月27～29日 (秋) 9月下旬～10月上旬
会場	博多旧市街エリアほか
内容	<p>福岡市の歴史・伝統・文化を今に伝える博多旧市街の寺社を中心に、アジアと日本のアーティストたちの作品を展示。市民や国内外の観光客がダイナミックな現代アートに遭遇できるとともに、福博の新たな魅力を再発見できる企画。</p> <p>平成30年度から継続してきた屋外型アートイベント（旧まるごとミュージアム）だが、コロナ禍により令和2年度は中止、今年度は来春に延期するため、令和4年度は春期と終期の二回実施予定。</p>



過去の会場風景

## 2 主な事業、取組みについて

### 美術教育事業（ラーニング・プログラム）

#### (1) 学校との連携

- ・ スクールプログラム（対話型鑑賞、アートカード等）
- ・ 職場体験、博物館実習など

#### (2) ワークショップの開発

- ・ アジア作家とのオンライン・ワークショップ
- ・ 所蔵品を活用したワークショップ

#### (3) アジア美術学習サイトの立ち上げ

- ・ わかりやすいアジア美術の紹介
- ・ アジアと日本の美術交流史



## 2 主な事業、取組みについて

### アートカフェのユニークベニュー

7階アートカフェにおいて、引き続き、福岡市文化芸術振興財団と連携して事業を実施していくとともに、特に令和4年度は、「FINA 世界水泳FUKUOKA2021」を中心に賑わい創出事業を戦略的に展開していく。

